

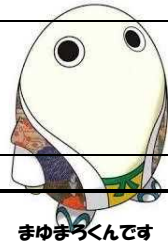
# 太宰府中学校 2 学年だより

No.24

R 1.11.29

文責：石橋 眞子

## 修学旅行に向けて4



まゆまゆくんです

修学旅行スローガン

### Make a good memory ~感謝の心で歩む道~

修学旅行でたくさんのことを学び、「誰もが最高の笑顔になれる旅であってほしい」という願いをこめて、このスローガンを設定しました。

また、修学旅行ではたくさんの人たちの協力が必要なので、「感謝の心を大切に取り組む」ことを心がけていこうと決めました。

by修学旅行実行委員会

修学旅行まで、あと2週間となりました。

今日は修学旅行のしおりを綴じ合わせました。しおりを見ると「いよいよ修学旅行か…」という実感がさらに高まったことでしょう。今回は、しおり以外に「修学旅行ガイド」も作成しました。学習係が一生懸命調べて書いた「手書き・手作り」のガイドブックです。

当日、ぜひ参考にしながら研修活動に役立ててください。

3日間のスケジュールは、起床時間や食事時間、入浴時間、就寝時間が決められています。「こんな早い時間に食べるの？」「寝る時間が早い！」などといった声が聞こえましたが、100人以上の集団を受け入れる施設（ホテルや観光地など）や乗物（バスや新幹線など）の都合があるため、皆さんの普段の生活時間と違ってくるのは当然です。

そこに不自由さを感じるでしょうが、思うようにならない「不自由さ」を学ぶことこそ大事なことだと私は思います。

中村穂香さんの作品より

以前、学年通信8号で「聾学校の子どもたち」のことを書きました。聞こえない不自由さを抱えた子どもたちが助け合って学ぶ姿を通して、不自由さがあるからこそ協力が生まれ、助け合えることを、伝えました。

繰り返して言いますが、修学旅行は遊びではありません。学校を離れた学びの場です。

3日間の生活では、仲間とともに動くことで、思う通りに行かない不自由さを、お互いで助け合いながら学びあい、「みんなと一緒に頑張ることは素晴らしい」ことを体得（体験を通して知ること。理解して自分のものにする。）して、個人としても、集団としても高めあって成長してほしいと思います。

そして何より、家で何不自由なく生活できる場を与えてくださっているおうちの方への感謝の気持ちをさらに深めて、感得（奥深い道徳や真理などを感じ悟ること。）してほしいと願っています。

## ★来週から二者面談です。

12月2日（月）～6日（金）の間、6時間目は二者面談を行います。この期間は、6時間目に面談をしながら、他の人は課題学習をします。

面談では、担任の先生との一対一で話をします。限られた時間ですが、日頃、道真ノートでしか伝え合えない先生に、言葉で伝え合えるチャンスです。

先生も、皆さんに伝えたいことがあります。皆さんも、先生に伝えたいことを考えておい

てください。

さて、この期間、1・2年生は二者面談ですが、3年生はもっと大切な面談をします。

それは、生徒・先生・おうちの方による進路相談（通称三者面談）です。

この面談で、中学校卒業後の進路（高校進学・就職・その他）を決定します。3年生の先輩たちにとっては、日々ピリピリする時期を迎え、3年生の先生方も進路に関する様々な書類を作成するので、毎日遅くまで準備しています。

今後、3年生は卒業まで慌ただしい日々を過ごします。下の図は、昨年度の入試までのながれ（一部）です。見ただけで驚くでしょう。

（入試関係の書類は翌年度で表します）

先日、ある私立高校が2年生の先生方に高校パンフレットを渡していました。野口先生がそれを手に取られて「高校も、2年生にターゲットを向けましたね。とうとう、進路を本格的に考える時期に近づいてきましたね。」とおっしゃっていました。

気がつけば、中学校生活も折り返し地点をとうに過ぎ、残り1年と4ヶ月程度になりました。今は修学旅行のことで頭がいっぱいでしょうが、自分の将来のこともそろそろ考えてい

かないといけません。

「まだまだ先だ」とか「とりあえず高校」と安易（のんきなこと。いい加減なこと。特別な工夫や努力のないこと）に構えていたり、毎回教室の隅で暴れたり、奇声や大声を出して廊下を走り回っているような傍迷惑な行動を送っている段階ではありませんよ……。

